

自王の旗

第200号
1994.3.22
編集部発行
文36-6820

全員配布
一〇〇号詩

一一〇〇号特集（その二）

ない映画だと思うんですが、これは

す。次は『二〇〇一年宇宙の旅』そして『フィールド・オブ・ドリームス』です。共通するのは、"三百二十

「で上映されたものは知りませんねえ」
まだまだ技法として不十分なんですか。

さて『月はどこに出てる』についてうかがわないわけにはいきません。



▲ 漢子

山本「とにかく市井の人を扱った映画なんですが、そこにはフィリピーナあり在日朝鮮人ありで「何だお前、朝鮮人…」「きちがい」などのセリフがいっぱい出てくるんです。そしてむしろ、そうすることで、逆にそれが突き抜けられていくところがあ

二
三

四庫全書

山本「世代が大きいと思いますねえ。」

先生なんかはゴダールにはちょっと遠いでしょう。ぼくらはもつとそれ以降でアメリカニューシネマになり

ますねえ、もちろん時代を超えてい
ける映画もありますよ。先程の『シ
ンドラーのリスト』はその一つにな
り得ると思いますね」

山本「いやあ、ポチヨムキンになると
もうお勉強している感じなんですね
え。まさに教科書です」

さて今度は映画にみるお国がら、民族性についてうかがいたいのですが。。。私は外国映画は外国映画としてしか認識していないことが多いのですが、そう十把ひとつからげに見てはいけないのですか。

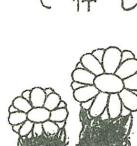
山本「実はミニシアター系でかかる映画にはいろんな国の中があるので、すが、全国一斉上映のものはほとんどアメリカ映画なんです。『ピアノレッスン』はオーストラリアですけどね。アジアの映画になると、ジャッキー・チエンなどを除いてはメジャ

同時封切で両方ヒットしたんですね。これは今の時代と可能性を表しています。こう思っています。これが現代日本

記 休育などで休んでいる組合員さんには自宅へ郵送していま
へんしゅう 後す。

先日、病休中の方から「そうした心配りがうれしい。自分がもつていた組合というもののイメージとはちがう。」と、ほめてもらいました。

三〇〇号までまたこつこつとがんばります。そして、ひとりでも多くの仲間ができるることを願つて



山本哲也氏 一九五五年生。御坊市出身。現在、築映興行株式会社営業部長。

山本哲也氏 一九五五年生。御坊市出身。現在、築映興行株式会社営業部長。